

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2019年5月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2019年5月9日～5月30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 115社
- 回収率 57.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の5月の状況を見ると業況DIは、前月より5.9ポイント改善の▲13.0となった。

2017年9月以来21ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲13.0、当月に比べ横ばいが見込まれる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

| | 2018年 12月 | 2019年 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 先行き見通し 2019年6月～ 8月 |
|------|--------------|-------------|-------|-------|-------|-------|--------------------------|
| 業況 | ▲21.1 | ▲24.5 | ▲25.9 | ▲21.6 | ▲18.9 | ▲13.0 | ▲13.0 |
| 売上 | ▲9.2 | ▲21.8 | ▲27.9 | ▲17.1 | ▲6.1 | ▲10.4 | ▲4.3 |
| 採算 | ▲12.8 | ▲23.6 | ▲26.0 | ▲24.3 | ▲15.5 | ▲13.1 | ▲13.9 |
| 仕入単価 | ▲30.2 | ▲36.4 | ▲41.4 | ▲43.2 | ▲47.4 | ▲40.9 | ▲41.7 |
| 販売単価 | - | - | - | - | 6.0 | 16.5 | 11.3 |
| 従業員 | 31.2 | 27.5 | 29.8 | 33.3 | 35.4 | 33.0 | 35.6 |
| 資金繰り | ▲7.3 | ▲10.0 | ▲8.7 | ▲7.2 | ▲9.5 | ▲4.3 | ▲7.9 |

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

| | 2018年 12月 | 2019年 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 先行き見通し 2019年6月～ 8月 |
|------|--------------|-------------|-------|-------|-------|-------|--------------------------|
| 建設 | ▲20.0 | ▲34.7 | ▲40.7 | ▲18.5 | ▲17.8 | ▲11.1 | ▲11.1 |
| 製造 | ▲37.5 | ▲32.0 | ▲32.0 | ▲24.2 | ▲25.8 | ▲10.0 | ▲6.7 |
| 卸売 | ▲17.4 | ▲26.1 | ▲15.0 | ▲22.8 | ▲8.7 | 0.0 | ▲9.1 |
| 小売 | ▲5.5 | ▲16.7 | ▲13.3 | ▲26.6 | ▲20.0 | ▲31.3 | ▲25.0 |
| サービス | ▲21.1 | ▲5.5 | ▲17.6 | ▲16.6 | ▲21.1 | ▲20.0 | ▲20.0 |

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

| | |
|-------|---|
| 建設業 | <ul style="list-style-type: none"> ・技術職員の不足、技術職員を募集しているが採用につながらない。労働時間の短縮、社員の育成・生産性の向上が急務。(設備その他) ・働き方改革は現在企業が先行しているが、働く人たちの意見をもっと取り入れるべき。(設備その他) ・改元等の祝賀ムードで工事が前倒しになっているので、その後の工事が少なくなる事を心配している。(建築) |
| 製造業 | <ul style="list-style-type: none"> ・GW.前の駆け込み需要等で4月の売上が伸びた分、5月の減少が予想される。材料費が上がったが、売価に転換できていない。(印刷・出版) ・主要製造品のアルミ基板は7月までの受注は堅調だが、その後の見通しが不透明。(金属窯業他) ・働き方改革としては、数年前から自社の取り組みを進めており、その成果を少しずつ感じている。売上高を多く求めるより、仕事量の平準化と作業の効率化、見える化、社内の意識改革を重点的に進めてきた。(金属窯業他) |
| 卸売業 | <ul style="list-style-type: none"> ・灯油の需要期が終了し、販売価格は落ち着いている。(燃料) ・人手不足の影響。メーカーが昨年の台風等の影響で昨年10月から商品の不足(全国的)で売上が上がらず、又商品不足でお得意様にも迷惑をかけている。この状態が年内続くと思われる。(紙製品) ・若手の人手不足。(機械鋼材) ・ネット通販の影響が出てきている。(繊維) |
| 小売業 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年は大型連休のため、ショッピングで来店されるお客様は昨年よりも少なく(前年売上比率)家族旅行が多い。連休明けは更に来店客は減少。売上ダウン分のカバーをする対策急務。(衣服見回品) ・10連休の影響で稼働日数が減り売上減の見込み。(その他) ・消費税増税予定での影響がどの程度なのか。(食料品) |
| サービス業 | <ul style="list-style-type: none"> ・設備投資が増加している(修繕・買替)(ホテル・旅館) ・慢性的な人手不足により、営業の拡充ができない。(整備業) ・統一地方選挙の影響からか、例年に比べて公共事業の発注の遅れが目立つ。(その他) ・働き方改革による人件費の高騰が見込まれる。(飲食) ・10連休は思ったより売上は上がらなかった。(飲食) ・運転手の不足、燃料の高騰。(運送) |

旭川市の産業別概況

| 産業 | 概況 |
|-------|---|
| 建設業 | <p>売上 DI7.8 ポイント改善、採算 DI11.6 ポイント改善、仕入単価 DI5.7 ポイント悪化、資金 DI10.8 ポイント悪化、従業員 DI5.2 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 0.7 ポイント改善したが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、総合工事 8 ポイント悪化、設備・その他 2 ポイント、建築業 25 ポイント改善となった。資材価格の高騰、下請業者の確保が困難。下請業者施行単価が上昇しているとの声も寄せられている。</p> |
| 製造業 | <p>売上 DI14.0 ポイント改善、採算 DI1.9 ポイント悪化、仕入単価 DI4.0 ポイント改善、資金 2.9 ポイント悪化、従業員 DI15.5 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 1.6 ポイント悪化となった。業種別では、食料品 12 ポイント、印刷・出版 7 ポイント改善、家具・木材 12 ポイント、金属窯業他 8 ポイント悪化となった。主要生製品の道路標識基板が高速道路関連で短期的に増大。8 月以降は見通せないとの声も寄せられている。</p> |
| 卸売業 | <p>売上 DI4.4 ポイント改善、採算 DI27.3 ポイント改善、仕入単価 DI16.4 ポイント悪化、資金 DI4.9 ポイント改善、従業員 DI3.1 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 14.1 ポイント改善したが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、繊維・衣服等 25 ポイント悪化、食料品 21 ポイント、機械鋼材横ばい、その他 22 ポイント改善となった。前年度よりも若干業況は良いが、飛び抜けて良い訳ではないとの声も寄せられている。</p> |
| 小売業 | <p>売上 DI 横ばい、採算 DI 横ばい、仕入単価 DI 横ばい、資金 DI 横ばい、従業員 DI6.7 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 6.6 ポイント改善となった。業種別では、食料品 25 ポイント悪化、衣料品、自動車横ばい、その他 40 ポイント改善となった。従業員不足が解消されないとの声も寄せられている。</p> |
| サービス業 | <p>売上 DI27.1 ポイント改善、採算 DI6.8 ポイント改善、仕入単価 DI2.6 ポイント悪化、資金 DI0.9 ポイント改善、従業員 DI2.6 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 4.5 ポイント悪化となった。業種別では、飲食 8 ポイント改善、理美容・クリーニング、ホテル・旅館、その他、整備業横ばい、運送 33 ポイント悪化となった。燃料・修繕費、車両価格等の上昇。運転手の高齢化。募集しても集まらないとの声も寄せられている。</p> |